

調査報告

[改訂版]

城北公園再整備計画について

もうひとつの
アンケート調査

(2024.12 ~ 2025.1)

“城北公園利用者の8割以上は
公園内駐車場を望んでいない”

城北公園が大好きな住民グループ

独自のアンケート調査に至った理由

一時、中断していた、城北公園の再整備事業を再開するにあたり、静岡市は、昨年の10月から11月にかけて、公園利用者・住民を対象に、再整備の是非を問う、アンケート調査を実施しました。

ところが、そのアンケートの内容、手法、分析などには、素人の目から見ても、多くの疑問点があり、実際にアンケートに答えた方々からも「あのアンケートはおかしいのではないか」という声が数多く聞かれました。

専門家の大学教授からは、「アンケートの随所にバイアスがかけられており、とても公正なアンケートとは言えない」という厳しい批判がありました。

市のアンケートの問題点

① 内容の異なるアンケートを同一のアンケートとして扱っていること。

アンケートには紙片版とWeb版がありましたが、この2つは「駐車場をどこに設置するか」という重要な点において大きな相違点がありました。その点について市は何も言及しておらず、結果分析においても、どのように考慮したのか、一切説明されておりません。

② 全体が市の計画を前提にしており、他の選択の可能性を排除しつつ、回答者を市の意向に沿った方向に誘導していること。

再整備事業の再開にあたり難波市長は「計画の原点に戻り、住民の声を十分に聞くことから始めたい」という主旨の発言をしていました。しかし、アンケートの文章は、市の意向に沿った表現に終始しており、住民の声を率直に問うという姿勢に欠けていました。

③ 市の計画に沿った一部の市民の声のみをとりあげており、著しく公平性に欠けていること。

設問の随所に「～という声がある」という表現で一部の市民の声が引用されていますが、そのほとんどが市の計画に賛成する声に偏っていました。そもそも、アンケートの文章の中にアンケートを行う主体が、このように自分に都合のよい表現を書き入れること自体、アンケートの中立性や客観性を著しく損うものであり、ほとんどアンケートとしての体をなしていないと言っても過言ではないでしょう。

問題点 ① ② ③ について

駐車場に関する項目(Q6)を例に具体的に説明します

紙版

Q6 駐車場について(選択肢に○をつけてください)

現状の城北公園には専用駐車場がなく、北側の道路に休日限定で路上駐車可能となっています。路上駐車は子どもの急な飛び出し等で危険な状態で、公園内に安全に利用できる専用駐車場を求める声があるため、『駐車場があり、子ども連れのご家族や高齢者等も利用しやすい公園』を目指したいと考えています。このことについて、お答えください。

とても 良いと思う まあまあ 良いと思う あまり 良いと思わない 全く 良いと思わない わからない

こちらに○をつけた方はQ7へ

Q7 Q6の質問で「とても良いと思う・まあまあ良いと思う」と回答した方にお尋ねします。(選択肢に○をつけてください)

Q7-1 新たに設置する駐車場は、子ども連れのご家族や高齢者などが利用しやすい園内駐車場の整備を目指しています。このことについて、お答えください。

とても 良いと思う まあまあ 良いと思う あまり 良いと思わない 全く 良いと思わない わからない

Q7-2 駐車場を園内と園外に分散して確保したいと考えています。このため、休日のみ利用できる公園北側道路の路上駐車スペースを安全対策を行った上で改修し、平日も駐車可能な園外駐車場の整備を目指しております。このことについて、お答えください。

とても 良いと思う まあまあ 良いと思う あまり 良いと思わない 全く 良いと思わない わからない

Web版では
このQ7が
全て削除
されています。

① 路上駐車危険性には言及していますが、公園内駐車場の危険性には一切触れていません。

② 「公園内に安全に利用できる専用駐車場を求める声がある」と一部の限られた声だけをとりあげています。

③ 「公園内」内がこの設問の主文と考えられますが、公園として当然のことが書いてあるだけで、単純に読めば、ほとんどの人は、「良いと思う」を選ぶでしょう。公園内駐車場と書かず、ただ駐車場と、あいまいに表現しているところが、公正ではありません。

④ Q6で市の計画に批判的回答をすると、次のQ7へは進めないようにつくられています。そのQ7とは、公園内設置を前提とした駐車場のあり方を問う設問です。

Web版

Q6. 駐車場について

現状の城北公園には専用駐車場がなく、北側の道路に休日限定で路上駐車可能となっています。路上駐車は子どもの急な飛び出し等で危険な状態で、公園内に安全に利用できる専用駐車場を求める声があるため、『駐車場があり、子ども連れのご家族や高齢者等も利用しやすい公園』を目指したいと考えています。このことについて、お答えください。

- ☐ とても良いと思う
- ☐ まあまあ良いと思う
- ☐ あまり良いと思わない
- ☐ 全く良いと思わない
- ☐ わからない

Q7は、完全に削除されています。

市は、このような公正さに疑問のあるアンケートを実施し、稀切ったわずか数日後には、十分な分析も示すことなく「市民の8割以上が市の計画に賛成している」という結果を公表しました。日頃、公園を利用している者の感覚からすると信じられない結果発表に思わず目を疑いました。と同時に、このように恣意的に操作された情報がそのまま、メディアによって拡散され、都合よく利用されていく様を目の当たりにし、ある種の恐ろしさを感じました。

私たちは、このような市の進め方に疑問を感じ、日々、城北公園を利用している方々の声が正しく反映されるアンケートにしたいと考え、バイアスを一切かけず、公正で客観性を重視した「もうひとつの」アンケートを作成しました。そして、公園を訪れた方々と直接、対話を重ねることで、公園利用者の声を集めるという調査活動に取り組むことになりました。なお、この活動については事前に市に伝え「是非、やってください」という返答をもらい、結果についても市へ報告する約束の上で進めました。

- **実施期間** 2024年12月9日(月)～2025年1月13日(月)
- **実施場所** 城北公園内の健康遊歩道と周辺の芝生を中心に
花時計、子ども広場、日本庭園周辺など
- **実施時間** 比較的人出のある 10:00～12:00
13:00～16:20 の間で1時間くらい
- **実施方法** バイアスがかかるのを避けるため、最初にアンケート調査用紙のみを渡し、調査の主旨を説明した後、状況に応じて直接記入してもらったり、こちらで聞き取り記入をしたりしました。その後でアンケート調査のお厚紙のチラシを渡しました。
- **アンケートの作成** ならびに採取にあたって心掛けたこと、
 - 質問文は主観的、誘導的な表現は使わず、バイアスを一切排除した、単純な文体にしました。
 - 回答の選択肢も、あいまいさを排除し、単純明解にしました。
 - 城北公園を実際に訪れた人を対象にし、対話によって意見を聞かせてもらうことを重視しました。
 - 幅広い年齢層の方々に声をかけるよう心がけました。
 - いろいろな考え方を率直に受け止め、賛成、反対という単純な色分けはせず、平等に対応しました。
- **実施者** 城北公園が大好きな住民グループ4名

アンケート調査用紙

もうひとつの

アンケート調査



～ 城北公園の再整備事業をめぐって～

Q1. どこから来られましたか。

☐ 近所(20分以内くらい) ☐ 葵区 ☐ 駿河区 ☐ 清水区 ☐ 市外

Q2. 年齢と性別は。

☐ 10歳未満 ☐ 10代 ☐ 20代 ☐ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60代 ☐ 70代
☐ 80代以上
☐ 男性 ☐ 女性

Q3. 公園までは、どのようにして来られましたか。

☐ 徒歩 ☐ 自転車 ☐ 車 ☐ バス ☐ タクシー ☐ バイク

Q4. 静岡市は、公園内に 駐車場、カフェ、子育て支援施設 の設置を計画していますが、そのことを知っていますか。

☐ 以前から知っていた ☐ 知らなかった(最近知った)

Q5. 静岡市の計画では、現在の 健康遊歩道、その周辺の芝生広場、藤だな、健全な樹木、グラウンド周囲道路の一部などが 撤去され、つぶされてしまいますが、そのことを知っていますか。

☐ 以前から知っていた ☐ 知らなかった(最近知った)

Q6. 駐車場のあり方についてどのように考えますか。

☐ 公園の中につくる ☐ 公園の外(周辺)につくる ☐ 知らない
(今のままでよい)

Q7. カフェのあり方についてどのように考えますか。

☐ 公園の中につくる ☐ 公園の外(周辺)につくる ☐ 知らない

Q8. 子育て支援施設(民間が運営し、有料)のあり方について、どのように考えますか。

☐ 公園の中につくる ☐ 公園の外(周辺)につくる ☐ 知らない

※ Q9. 子育て支援施設の利用が有料であることを知っていましたか。

※ 雨の日などに子どもたちが室内で遊ぶための施設

☐ 以前から知っていた ☐ 知らなかった(最近知った)

Q10. 公園内で再整備してほしいものを 3つ選んでください。

☐ 駐車場 ☐ カフェ ☐ 子育て支援施設 ☐ トイレ ☐ 園内照明設備
☐ 防犯カメラ ☐ 路面の改修 ☐ 子ども広場の改修
 その他 ☐

[調査データ]

		日 時	12/9	12/10	12/11	12/12	12/13	12/14	12/15	12/16	12/17	12/18	12/19	12/20	12/21	12/22	12/23	12/24	12/25	12/26	12/27	12/28	1/4	1/5	1/6	1/8	1/10	1/11	1/13
		曜 日	月	火	水	木	金	日	月	火	金	土	月	火	水	木	金	日	土	日	火	水	金	土	月				
		時間帯	15:30 16:20	13:30 14:20	14:50 15:40	15:30 16:20	11:30 12:20	14:00 14:50	13:30 14:20	10:00 10:50	10:30 11:20	11:00 11:50	11:00 11:50	11:00 11:50	11:00 11:50	15:00 15:45	15:00 15:45	12:00 12:45	12:00 12:45	11:00 11:50	11:00 11:50	11:00 11:50	11:00 11:50	11:00 11:50	11:00 11:50	11:00 11:50	13:30 14:20	13:30 14:20	
		調査人数	12	14	14	15	17	16	15	12	22	11	16	16	15	13	11	15	19	18	15	10	11	20	25				
Q1	近所(20分以内くらい)		6	8	8	12	9	6	9	4	15	8	8	12	5	7	6	9	13	12	7	7	8	6	12				
	葵区		6	5	5	1	5	4	5	7	5		4	4	7	4	4	4	4	3	8	3	3	11	8				
	駿河区			1	1	1	1	4		1	1				2			1		3				3	5				
	清水区					1					1	3						1		2									
	市外						2	2	1				4		1	2		1											
Q2	10歳未満																												
	10代		3		2	2		3	2		1	2	4		4	2	1				2				6	5			
	20代			1		2			1	1		1		1	2	3			2	2									
	30代		1	2		2	2	3	3	3	4	2	5	7	1	2	1	3	3	8	4	2	2	5	9				
	40代		1	4	2	2	4	6	3	2	3	3	1	1	3	4	6	4	5	1				2	4				
	50代		3	1	2	1	2		3		3	1	1	4	1	1		4	6	6	1		2	1	1				
	60代		1	3	3		2	4		2	6		4	2	2		2			1	1	1		3	2				
	70代		3	1	4	5	6		3	2	5	1	1		1	1	1	3	3		4	6	6	2	3				
	80代以上			1	1		1			2		1		1	1			1			3	1	1	1	1				
	男性		3	5	5	8	8	5	3	4	7	2	3	5	5	3	3	6	8	5	4	2		5	7				
女性		9	9	9	7	9	11	12	7	14	9	13	11	9	8	7	6	11	10	11	8	11	13	17					
Q3	徒歩		6	5	10	9	9	6	10	4	10	5	9	10	11	8	3	8	12	12	4	6	9	5	8				
	自転車		6	3	2	3	4	4	3	4	7	3	4	5	5	2	1	2	3		4	2	2	8	7				
	車			3	2	1	2	7		3	5	3	3	4		3	7	5	4	5	7	2		7	10				
	バス					2	3		1					1															
	タクシー																		1										
	バイク			1					1	1																			
Q4	以前から知っていた		8	14	13	9	10	8	12	6	17	9	13	14	10	5	9	13	14	15	12	10	11	9	18				
	知らなかった		4		1	6	7	8	3	6	4	2	3	2	5	8	2	2	5	3	3			11	7				
Q5	以前から知っていた		7	9	10	8	4	5	8	4	12	5	7	9	9	4	6	10	9	12	8	8	8	4	5				
	知らなかった		5	5	4	7	13	11	7	8	10	6	9	7	6	9	5	5	10	6	7	2	3	16	20				
Q6	公園内につくる			2	1	3	2	4	2	1	3	1	4	3	1	2	2	2	1	3	4			6	2				
	公園外(周辺)につくる		8	10	9	11	10	6	11	10	16	8	10	11	12	8	7	11	16	10	6	8	7	11	14				
	知らない(今のままでよい)		4	1	5	3	5	5	1	1	3	2	3	2	2	3	2	2	2	4	5	2	4	3	9				
Q7	公園内につくる		2	5	2	4	3	2	2	4	10	2	6	8	6	6	5	5	3	9	4	6	5	10	10				
	公園外(周辺)につくる		5	6	5	7	4	7	6	3	6	6	4	4	7	6	2	6	10	8	4	1	1	7	5				
	知らない		5	3	7	5	10	6	7	5	5	3	5	5	2	1	4	4	6	1	7	4	4	3	10				
Q8	公園内につくる		2	4	1	8	5	6	5	4	10	4	2	6	4	4	2	8	7	8	3	2	5	7	4				
	公園外(周辺)につくる		8	8	5	6	6	5	8	4	7	4	6	4	8	7	5	5	8	10	5	3	2	8	14				
	知らない		2	1	7	2	6	4	1	4	5	2	7	6	3	2	4	2	4	1	7	5	4	5	7				
Q9	以前から知っていた		3	3	1	5	3	3	2	1	5	2	1		1	2	2	2	2	4	4	1	3	3					
	知らなかった		9	10	13	10	14	13	13	11	17	9	15	16	14	11	9	13	17	14	11	9	8	17	25				
Q10	駐車場		1	4	3	5	2	5	5	2	8	2	3	5	4	2	8	3	3	6	8	2	1	7	5				
	カフェ			2		4	2	2	1	1	3	3	1	3	5	6	5	2	3	7	2	2	4	4	4				
	子育て支援施設		1	5	1	2		5	2	1	3	1	2	3	2	1	1	3	3	2	1	1	1	1	1				
	トイレ		6	10	7	9	9	9	6	2	13	11	12	6	8	10	10	11	12	12	11	6	6	12	16				
	園内照明設備		5	4	5	4	6	6	5	1	8	4	5	6	8	6	1	11	6	7	7	4	4	5	6				
	防犯カメラ		6	6	9	6	8	7	7	4	11	4	5	7	9	4	4	7	10	9	8	5	5	7	6				
	路面の改修		4	1	5	2	6	1	4	5	5	1	6	2	2	1	1	2	6	3	4	3	3	5	6				
	子ども広場の改修		4	5	4	3	5	4	6	4	7	5	5	6	6	5	1	2	8	11	1	4	3	6	9				

[結果のまとめ] (一覧表)

調査総人数

352人

※ 未回答や複数回答については、原則としてそのままカウントしました。従って、右表の総人数の欄は、調査総人数の352人と異なる場合もあります。

※ 割合(%)については、小数点以下を四捨五入した値なので、全体が100%にならない場合もあります。

※ Q10については、調査総人数352人中での割合で計算しています。

		人数 A	総人数 B	割合(%) $\frac{A}{B} \times 100$
Q1	近所(20分以内くらい)	197	352	56%
	葵区	110		31%
	駿河区	24		7%
	清水区	8		2%
	市外	13		4%
Q2	10歳未満		350	0%
	10代	39		11%
	20代	16		5%
	30代	74		21%
	40代	61		17%
	50代	44		13%
	60代	39		11%
	70代	61		17%
	80代以上	16		5%
	男性	106	337	32%
	女性	231		69%
Q3	徒歩	179	356	50%
	自転車	84		24%
	車	83		23%
	バス	6		2%
	タクシー	1		0%
	バイク	3		1%
Q4	以前から知っていた	259	351	74%
	知らなかった	92		26%
Q5	以前から知っていた	171	352	49%
	知らなかった	181		51%
Q6	公園の中につく	47	350	13%
	公園の外(周辺)につく	230		66%
	いらない(今のままでよい)	73		21%
Q7	公園の中につく	119	351	34%
	公園の外(周辺)につく	120		34%
	いらない	112		32%
Q8	公園の中につく	111	348	32%
	公園の外(周辺)につく	146		42%
	いらない	91		26%
Q9	以前から知っていた	53	351	15%
	知らなかった	298		85%
Q10	駐車場	94	352	27%
	カフェ	66		19%
	子育て支援施設	43		12%
	トイレ	214		61%
	園内照明設備	124		35%
	防犯カメラ	154		44%
	路面の改修	78		22%
	子ども広場の改修	114		32%

[結果のまとめ] (グラフ)

Q1. どちらから来られましたか ※ () 内の数字は、%

近所 (20分以内くらい)	葵 区	駿河区	清水区	市外
---------------	-----	-----	-----	----

Q2. 年齢は

※ (56)%

(31)

(7) (2) (4)

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
(11)	(5)	(21)	(17)	(13)	(11)	(17)	(5)

Q2. 性別は

男 性	女 性
(32)	(69)

Q3. 公園まではどのようにして来られましたか。

徒 歩	自 転 車	車	バイク スクーター
(50)	(24)	(23)	(2)

Q4. 静岡市は公園内に駐車場、カフェ、子育て支援施設の設置を計画していますが、そのことを知っていますか。

以前から知っていた	知らなかった (最近知った)
(74)	(26)

Q5. 静岡市の計画では、現在ある健康遊歩道、周辺の芝生広場、藤棚、健全な樹木、グラウンド、周回道路の一部などが撤去されてしまいますが、そのことを知っていますか。

以前から知っていた	知らなかった (最近知った)
-----------	----------------

Q6. 馬主車場のあり方について、どのように考えますか。(もしつくとしたら)

公園の中につくる	公園の外(周辺)につくる	いらない (今のままでよい)
(13)	(66)	(21)

※ 車で来た人に絞って、駐車場に対する考え方を整理してみると。

公園の中につくる	公園の外(周辺)につくる	いらない (今のままでよい)
(21)	(69)	(10)

Q7. カフェのあり方についてどのように考えますか。(もしつくとしたら)

公園の中につくる	公園の外(周辺)につくる	いらない
(34)	(34)	(32)

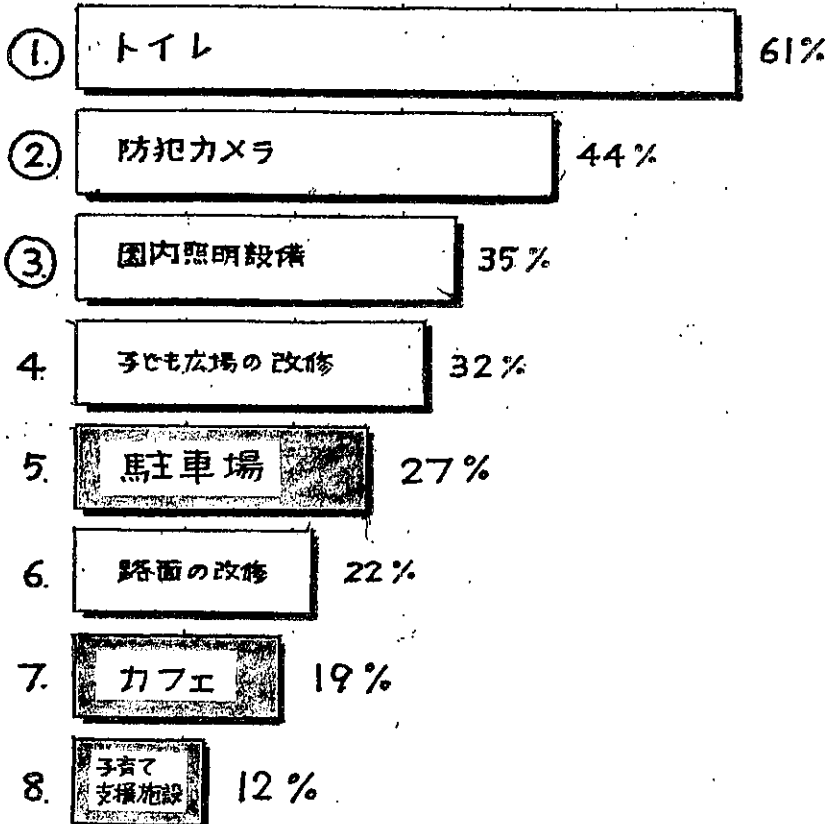
Q8. 子育て支援施設(民間が運営、有料)のあり方についてどのように考えますか(もしつくとしたら)

公園の中につくる	公園の外(周辺)につくる	いらない
(32)	(42)	(26)

Q9. 子育て支援施設の利用が有料であることを知っていましたか。

以前から 知っていた	知らなかった（最近知った）
---------------	---------------

Q10. 公園内で再整備してほしいものを3つ選んでください。



※

車で来た人(83名)に絞って駐車場に対する考え方を整理すると

• 公園の中につくる	18名	21%	中、外両方に記入した人が 3名いたので、総計86名 で計算してあります。
• 公園の外(周辺)につくる	59名	69%	
• いない(今のままでよい)	9名	10%	

「その他」の欄に寄せられた声

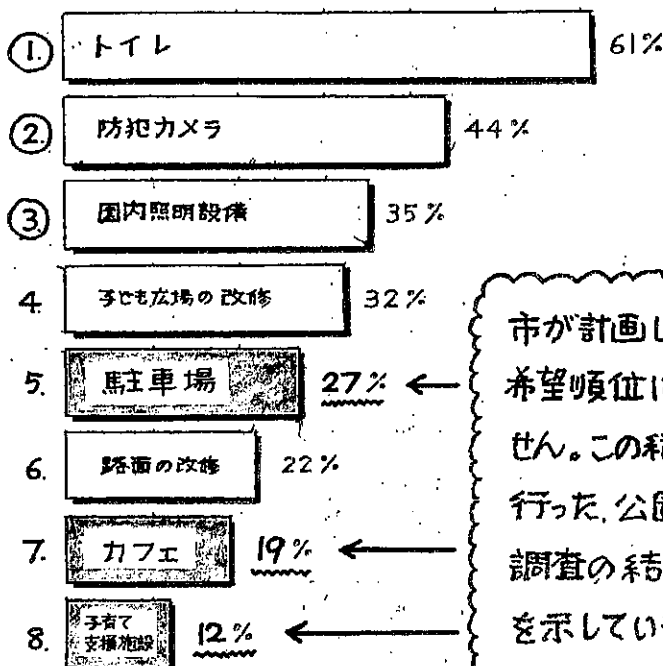
- 路上駐車を増やす。
- 駐車場は、障がい者、ご老人等、弱者の方のみ必要。
- 駐車場は、公園の外の方が秩序が保たれる。
- 洋式トイレを。
- オムツ交換台や障がい者用のトイレを整備
- 子ども用トイレを増やしてほしい(2)
- キッチンカーの利用(2)
- 図書館内にカフェ、その他子育てに利用(2)
- 花時計をカフェにして、公園はそのまま木を切らずに
- 花時計は、もっと子どもたちのために有効活用した方がよい。
- 花時計が正確になっている時がほとんどない。
- 植栽のメンテナンス(2)
- 雑草の整理を
- 草木は守ってほしい。
- 緑を増やしてほしい
- 古い樹木の伐採
- ベンチを増やす、木を増やす
- ベンチを良いものに代えてほしい
- 東屋を増やす
- 子育て支援施設、有料なら公園の外へ
- 子育て支援施設、有料なら使わない
- 自然をそのまま生かす。
- 遊具を増やしてほしい(2)
- 自転車と歩道のあり方
- 自転車、犬の散歩などであぶないことがある
- 自転車が走り回るのはあぶない
- 池のおそろじ
- 安東児童館を組織改革して無料の一時託児所に
- 図書館屋上に富士山展望台を
- 蓮華寺池公園が理想
- イベントを開催(年何回かやっていただくのにぎやかになってよい)
- もっと市民のことを考えた事業であってほしい。
- グラウンドを芝に
- バスケットコートを
- 今のままでよい(6)
- 安全対策

[分析]

- 近所の利用者が5割以上、葵区全体を含めると9割近くを占め、普段は典型的な地区公園としての特徴がはっきりあらわれています。
- 20代の来園者が相対的に少ないようです。母集団が少ないので確かなことは言えませんが、行き先指向が公園とは別にあるのかもしれませんが。
- 女性が7割ちかくを占めています。母子が多いことが多少関係しているかもしれません。
- 徒歩での来園者が半分を占め、自転車と車が残りの半分ずつを占めている感じです。
- 市の計画によって新たに作られるものについては、知っていても、それがどこにつくられ、引きかえに、どこが失われるかについては知らない人が多いようです。
- 駐車場については、「現状のままでよい、あるいは、つくらないう公園の外に」という人が8割以上を占めています。「公園の中がよい」という人は13%にすぎません。

※車で来ている人に限定しても、「公園の中がよい」という人は21%にすぎません。

- カフェ、子育て支援施設についても、「いらない」あるいは「つくらないう公園の外に」という人が6割～7割を占めています。
- 子育て支援施設が有料であることを知らなかった人が8割以上を占めています。有料なら使わない、という声も多かったです。
- 公園内で整備してほしいものとして希望が多かったのは、次の順でした。



市が計画している3つの施設の希望順位は、それほど高くありません。この結果は、市が2018年に行った、公園に関する市民意識調査の結果とよく似た傾向を示しています。

[考察] 私たちが考えたこと

静岡市は、城北公園の再整備にあたり、一貫して、駐車場、カフェ、子育て支援施設を公園の中につくることを前提に、計画を進めてきました。「それら3つの施設を希望する市民の声が多い」というのが市の言い分でしたが、それを実証するような客観的データの裏付けは、ほとんどなかったように思います。

しかし、私たちが行ったアンケート調査の結果を見る限り、市が言うところの“市民の声”は、実際には、一部の限られた声であることが、具体的なデータから読みとることができます。

市のアンケートで頻繁に使われていた「～という声がある」という表現は、その曖昧さ故に、誤った思い込みを招きがちです。「公園内に駐車場がほしいという声がある」と聞くと「公園内にほしい人が多いんだな」と思うバイアスがかかります。しかし、バイアスを排除した私たちの調査では、「公園内にほしいと思う人は、わずか13%しかいない」ことを示しています。むしろ「公園内に駐車場をつくるべきではない」と考える人の方が圧倒的に多いのです。

私たちのアンケート調査は、実際に城北公園を訪れた人が対象でしたが、そこで得られた声からは、ネットのアンケートでは得ることのできない、生身の人間の声の重さが感じられました。「所詮、公園利用者だけの声ではないが」という指摘もありますが、それに対しては、「実際に公園を利用している人の声こそが、公園のことを考えるうえでの原点である」と答えたいと思います。

公園には過去から現在、そして未来へと受け継がれていく公共財(コモン)としての役割があります。公園は現在の私たちだけのものではありません。現在の価値基準のみで、安易に手を加えることは、厳に慎まなくてはなりません。

地区公園を拠点公園と名称変更までして、公園に手を加え、人を集めて、賑わいをつくり出そうとすることは、あくまでも現在だけの目的です。しかし、そこに欠けているのは、現在ある城北公園の姿には、多くの先人方の努力や願いが刻まれているという、過去への敬意ではないでしょうか。

さらに、公園は未来へつなげる場所でもあります。今の子どもたち、さらには未来に生まれるであろう子どもたちの健やかな成長にとっても、公園は欠かせない場所であるという認識を大人は持つべきです。

公園がより良い姿を保っていくためには、安定した維持管理が必要なのは言うまでもないことです。しかし、それを安易に民間活力に委ねることが今の城北公園にとって、本当

に良いことなのかもっと熟慮すべきです。昨年、公園再整備を担う民間企業の違法建築問題が発覚し、市民の間に不安や疑問の声があがっています。

民間活力なるものに頼るより、むしろ住民の活力を公園づくりに生かす道を模索する方が、公園そのものが市民をつなぐ場となり、公園が真に市民の共有地として育っていくことにつながるのではないのでしょうか。

簡単な剪定、草むしり、落葉の回収（堆肥づくり）などに、住民からボランティアを募ったり、樹木を守る緑のオーナー制を導入して寄付を募ったりすることで、公園は自分たちで管理するもの、という意識が育つのではないのでしょうか。

車社会の利便性や経済効率、大人の気晴らしなどを優先させるのではなく、公園の主人公である子どもたちのために、大人がほんの少しがまんするという発想があってもいいと思います。多少不便でも駐車場は公園の外に工夫する。カフェの代わりにキッチンカーを導入する。子育て支援施設よりは、子どもが安心して遊び回れる自然環境を残してあげる。土の感触、大樹の木陰、虫たちとの出会い。そういうものを肌で感じとることができる場所としての公園を子どもたちに残すのは、**今を生きる大人の責任**であると思うのです。

「市民の8割以上が市の計画に賛成している」という市の発表に対する異和感から生まれた“もうひとつの”アンケート調査ですが、市のアンケート調査とこれほど違う結果が出るとは正直なところ思ってもいませんでした。私たちの調査が完璧なものとは思いませんが、少なくともバイアスは一切がけず、公正な姿勢で取り組んだという自負は持っております。

本来は、このような調査に**子どもたちの声**も反映されなければおかしいはずです。さらに言えば、私たち人間がどれほど樹木の恩恵を受けているかを考えると、同じ生きものとしての樹木の声にも耳を傾けるべきです。世界は人間だけで成り立っているわけではないことを、樹木を通して深く感じとることができるのも、また公園というところなのですから。

私たちが行った調査が城北公園の未来を考えるうえで、多少でも参考になりましたら、これほどうれしいことはありません。

2025. 2. 12

城北公園が大好きな住民グループ